

# 責任投資原則

国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI) と  
国連グローバル・コンパクトと連携した投資家イニシアティブ

## PRI のミッション

私たちは経済的に効率の良い、持続可能な国際金融システムが長期的な価値の創出に必要であると考えています。こうしたシステムは、長期的な責任投資に報い、環境や社会全体に利益をもたらします。

PRI は、本原則の採用およびその実施の協働を奨励すること、優良なガバナンス、誠実性、説明責任を促進すること、市場の慣行、構造および規制の中に存在する持続可能な金融システムにとっての障害に対応することにより、この持続可能な国際金融システムの達成に尽力します。



# ブループリント 責任投資のビジョン

「向こう10年間の私達の目標は、責任ある投資家と共に、すべての人々のための真の豊かな世界の実現に向けた持続可能な市場を目指し、協働してもらうことです。」

PRI は以下の分野に焦点を当てます。

## ■ 責任ある投資家

私達は私達の中心的な取り組みである長期的な価値の追求をする責任ある投資家をリードすること、またインベストメント・チェーン全体の協調を強化、掘り下げ、拡大をしていきます。

- **アセット・オーナーの影響力を強化する。**
- **投資家による ESG 課題の組み込みをサポートする。**
- **アクティブ・オーナーシップのコミュニティを育成する。**
- **説明責任強化のためにリーダーシップを発揮する。**
- **責任ある投資家への啓蒙活動を行う。**

## ■ 持続可能な市場

私達は投資家が活動する市場の持続不可能な側面に対処し、責任ある投資家と受益者が必要としている、経済効率性が高く持続可能なグローバル金融システムを実現します。

- **持続可能な金融システムへの障壁に挑む。**
- **市場に意味のあるデータを普及させる。**

## ■ すべての人々のための 真の豊かな世界

私たちは現在と将来の世代のための真の豊かさと包括的な社会に貢献できるような投資活動を署名機関ができるように支援します。

- **気候変動に対する対策を支持する。**
- **SDGs が実現される世界を目指す。**



## 前書き

サステナビリティ（持続可能性）は、現代が抱える大きな課題の一つです。私たちは全員、自分自身のため、そして将来世代のために豊かでインクルーシブな（誰も排除されることのない）社会の土台づくりを支援する責任を負っています。

しかし、増え続ける機会を把握すること、あるいは、今日私たちが直面している無数のリスクやさほど遠くない将来に直面するであろう無数のリスクを克服することは、責任投資があつて初めて可能になります。投資家が責任をもって効果的な投資を行うためには、投資家の長期的な価値の追求を妨げず、その追求を手助けする金融システムが必要です。

何らかの形で私たち全員に影響を与える気候変動や所得の不平等といった課題の存在により、責任投資原則（PRI）の使命（経済的に報われると同時に、環境や社会全体に利益をもたらす持続可能な国際金融システム）の達成を目指す取り組みでは、躊躇している暇はありません。

もちろん、まだ大きな進展がないと言っているわけではありません。PRIの署名機関の数、責任をもって運用されている投資資産、その他個人や企業によるサステナビリティのための取り組みは増え続けており、これらはそうした進展の証です。

環境、社会およびガバナンスの要因を投資の意思決定とアクティブ・オーナーシップに含めることは、もはや「良い行い」ではなく、「絶対必要な行い」と考えられています。投資家は次第に、より深い洞察力をもって長期的なリスク要因を評価し、急速に進化している受益者や顧客のニーズを考慮に入れた新たな投資機会を特定することによって投資パフォーマンスの向上を目指すようになってきています。

しかし、私たちがあつべきところへ向かう際に障害となるものを特定し、それらに対処する（責任投資の繁栄を可能にする構造、規制およびインセンティブのために立ち向かう）必要性がこれほど差し迫るものとなったことはこれまでありませんでした。PRIはこれらに真正面から独力で立ち向かうのではなく、2つの創設パートナーである国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）と国連グローバル・コンパクトを介した国連との独自の強い連携を持って協働していきます。

国際的に認められた責任投資原則に署名することは、運用資産500億米ドルのアセット・オーナーであっても、スタッフ10名未満のサービス・プロバイダーであっても、自身の責任投資に対するコミットメントを公に示すとともに、万人・万物にとってのより良い世界に資する、真の変化を推進している成長中のグローバル・コミュニティの一員であることも公に示すことができます。






PRI 議長 マーティン・スキョット  
PRI CEO フィオナ・レイノルズ

# 責任投資とは何か？

PRIは責任投資を環境 (environment)、社会 (social)、ガバナンス (governance) の要因 (ESG 要因) を投資決定やアクティブ・オーナーシップに組み込むための戦略および慣行と定義しています。

ESG 課題を考慮する様々な投資アプローチに関連して、サステナブル投資、エシカル投資、インパクト投資など数多くの用語が使われています。そのほとんどが正式な定義をもたず、往々にして区別なく使われています。責任投資がこれらの用語よりもどのぐらい広い概念をもつのか。それを理解する鍵は、道徳的または倫理的なゴールを第一の目的とするものが多い中、責任投資は財務上のリスクや機会と現実社会での成果をつなぐ架け橋の構築を目指す投資家のみならず、財務パフォーマンスだけに注目する投資家でも追求可能であり、追求すべきものだけということなのです。

## なぜ責任投資なのか？

<p><b>1</b> </p> <p><b>マテリアリティ (重要性)</b></p> <p>ESG 要因がリスクとリターンに影響する可能性があることは金融業界および学界において認識されています。</p>	<p><b>2</b> </p> <p><b>市場の需要</b></p> <p>自己の資金がどのように投資されているのか。その透明性の向上を受益者や顧客は求めています。</p>	<p><b>3</b> </p> <p><b>規制</b></p> <p>ESG 要因の考慮を投資家の顧客や受益者に対する義務の中を含めるガイダンスが規制当局から出ています。</p>
--	---	--

環境・社会・ガバナンス (ESG) 要因の例は無数にあり、絶えず変わっています。その一部を以下に挙げます。

環境	社会	ガバナンス
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 気候変動</li><li>■ 資源の枯渇</li><li>■ 廃棄物</li><li>■ 汚染</li><li>■ 森林減少</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 人権</li><li>■ 現代奴隷制</li><li>■ 児童労働</li><li>■ 労働条件</li><li>■ 従業員関係 (エンプロイヤー・リレーションズ)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 贈賄および腐敗</li><li>■ 役員報酬</li><li>■ 取締役会 / 理事会の多様性および構成</li><li>■ ロビー活動および政治献金</li><li>■ 税務戦略</li></ul>

## 注目を集めた環境・社会・ガバナンスに関する財務上に重大な影響を与えた事象の例



メキシコ湾原油流出事故。  
BP 社はこの事故に関し、  
[538億米ドルの税引前費用](#)を  
計上しました。



フォルクスワーゲン社による1,100万台の  
ディーゼル車の検査合格を目的とした  
排ガス不正が露見。これによって同社は  
[274億ユーロの制裁金および罰金](#)などの  
費用を負担することになりました。

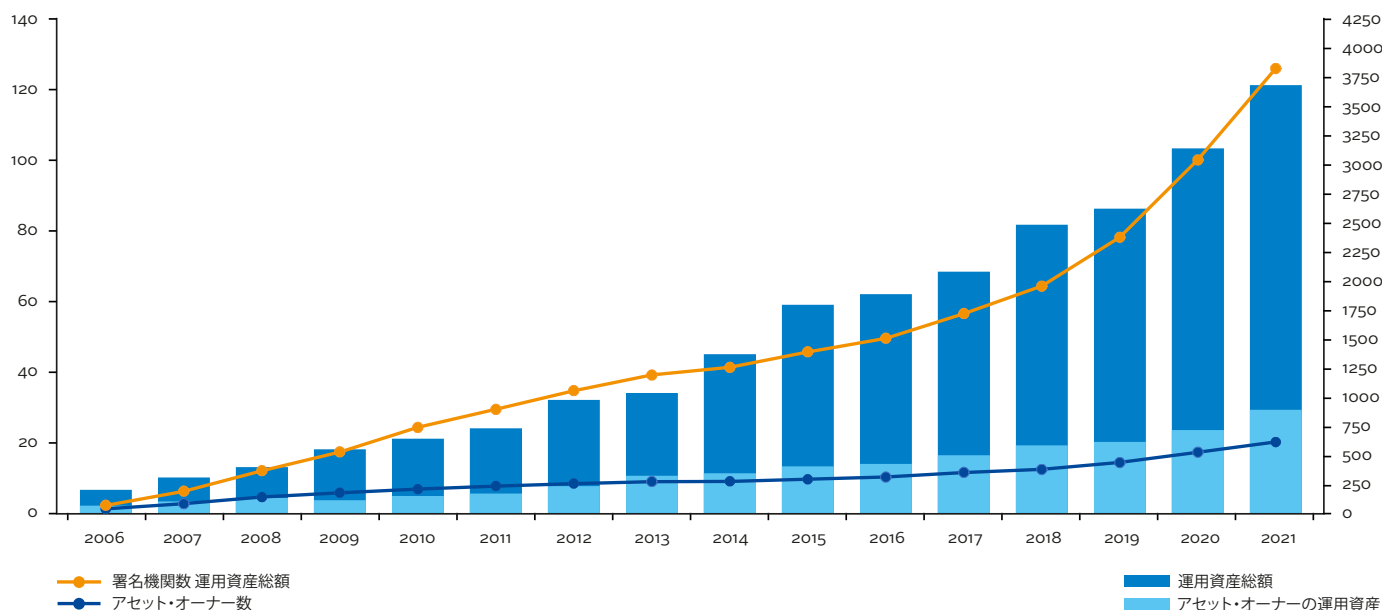


Facebook は [Cambridge Analytica](#) が  
ユーザー8,700万人分の[個人データ](#)を  
本人の同意なく[収集できる](#)というスキャン  
ダルの発覚後、市場価値が数十億低下  
するという事態に直面しました。

PRI は2006年の発足以来、着実に成長しています。

運用資産(兆米ドル)

署名機関数



2021年4月現在

「アセット・オーナーは互いに競い合っているわけではなく、資本市場のサステナビリティ向上のために協働すべきです。PRI のリソースは、資金力で劣るアセット・オーナーがベストプラクティスを確信し、迅速に ESG を促進、統合することを後押しします」

年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) (前) 理事兼 CIO

水野 弘道

# 責任投資原則

## PRI と6つの原則について

PRI は6つの責任投資原則の実施に向け、署名機関の国際的ネットワークと協力しています。目標は、環境、社会およびガバナンスの問題に対する投資の影響を把握し、署名機関がこれらの課題を投資の決定や株主としての決定に統合するのを支援することです。

6つの原則は投資家により策定され、国連の支援を受けています。60か国以上4,000以上の署名機関が参加し、その資産総額は120兆米ドル以上です。

## どのようにして始まったのか？

責任投資原則は、環境、社会、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の課題と投資慣行との関連性が增大していることを考慮し、機関投資家の国際的なグループにより策定されました。

2005年の初め、コフィ・アナン国連事務総長（当時）が、世界の大手機関投資家に対し、責任投資原則の策定作業への参画を要請しました。12か国の機関から選ばれた20名で構成される投資家グループが、投資業界、政府間組織、市民社会の専門家70名で構成されるグループの支援を受けました。

## PRI のミッション

私たちは経済的に効率の良い、持続可能な国際金融システムが長期的な価値の創出に必要であると考えています。こうしたシステムは、長期的な責任投資に報い、環境や社会全体に利益をもたらします。

PRI は、本原則の採用およびその実施の協働を奨励すること、優良なガバナンス、誠実性、説明責任を促進すること、市場の慣行、構造および規制の中に存在する持続可能な金融システムにとっての障害に対応することにより、この持続可能な国際金融システムの達成に尽力します。

## 6つの原則と署名機関のコミットメント

機関投資家である私たちには、受益者の最善の長期的利益のために行動する責任があります。この受託者という役割において、環境、社会、コーポレート・ガバナンス（ESG）課題が投資ポートフォリオに影響を与える可能性があると考えています（企業、セクター、地域、資産クラス、期間により、その程度は異なります）。また、本原則を適用することにより、投資家をより広範な社会の目標に沿わせることができると認識しています。

したがって、私たちの受託者責任と矛盾しないかぎり、コミットメントとして、以下を約束します。

- 1 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスに ESG の課題を組み込みます
- 2 私たちは、活動的な所有者となり所有方針と所有習慣に ESG の課題を組み入れます
- 3 私たちは、投資対象の主体に対して ESG の課題について適切な開示を求めます
- 4 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ実行に移されるように働きかけを行います
- 5 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために協働します
- 6 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します



本原則は ESG 課題の組み込みに関して実行可能な行動のオプションを提供しています。

## 1 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスに ESG の課題を組み込みます

### 実行可能な行動

- 投資方針ステートメントで ESG 課題を取り入れる
- ESG 関連ツール、測定基準、分析の開発を支援する
- 内部の投資マネージャーの ESG 課題組み込み能力を評価する
- 外部の投資マネージャーの ESG 課題組み込み能力を評価する
- 投資サービス・プロバイダー（金融アナリスト、コンサルタント、ブローカー、調査会社、格付け会社等）に対し、進化する調査・分析に ESG 要因を組み込むように依頼する
- このテーマに関する学術研究等を促す
- 投資専門家を対象とした ESG 研修を提唱する

## 2 私たちは、活動的な所有者となり所有方針と所有習慣に ESG の課題を組み入れます

### 実行可能な行動

- 本方針に沿ったアクティブ・オーナーシップ方針を策定・開示する
- 議決権を行使し、（外部委託の場合は）議決権行使方針の遵守をモニターする
- エンゲージメント能力を（直接または外部委託により）開発する
- 方針、規制の策定、標準設定（株主の権利の促進・保護等）に参加する
- 長期的な ESG の考慮に沿った株主決議を提出する
- ESG 課題に関し、企業にエンゲージメントを行う
- 協働エンゲージメント・イニシアティブに参加する
- 投資マネージャーに対し、ESG 関連エンゲージメントに取り組み、その報告を行うように依頼する

## 3 私たちは、投資対象の主体に対して ESG の課題について適切な開示を求めます

### 実行可能な行動

- （Global Reporting Initiative などのツールにより）ESG 課題に関して標準化された報告を求める
- 年次会計報告書に ESG 課題を組み込むように求める
- 関連する基準、標準、行動規範または国際イニシアティブ（国連グローバル・コンパクトなど）の採用または遵守に関する情報を企業に求める
- ESG の開示を促進する株主のイニシアティブや決議を支援する

## 4 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ実行に移されるように働きかけを行います

### 実行可能な行動

- 提案依頼書（RFP）に本原則に関連する要件を含める
- 投資マニフェスト、モニタリング手順、パフォーマンス指標、インセンティブ体制を適宜調整する（例えば、該当する場合、投資管理プロセスが長期間を反映するようにする）
- ESG の期待事項を投資サービス・プロバイダーに伝える
- ESG 期待事項を満たしていないサービス・プロバイダーとの関係を見直す
- ESG 統合のベンチマーキング・ツールの開発を支援する
- 本原則の実施を可能にする規制または政策の開発を支援する

## 5 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために協働します

### 実行可能な行動

- ネットワークやツール、ガイダンス資料、投資家のリポーティングなどを学習のリソースとして活用できる共有の情報プラットフォームへの参画あるいはサポートをする
- 新たに発生する課題に対して協働して対処する
- 適切な協働イニシアティブを展開し、または支援する

## 6 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗状況に関して報告します

### 実行可能な行動

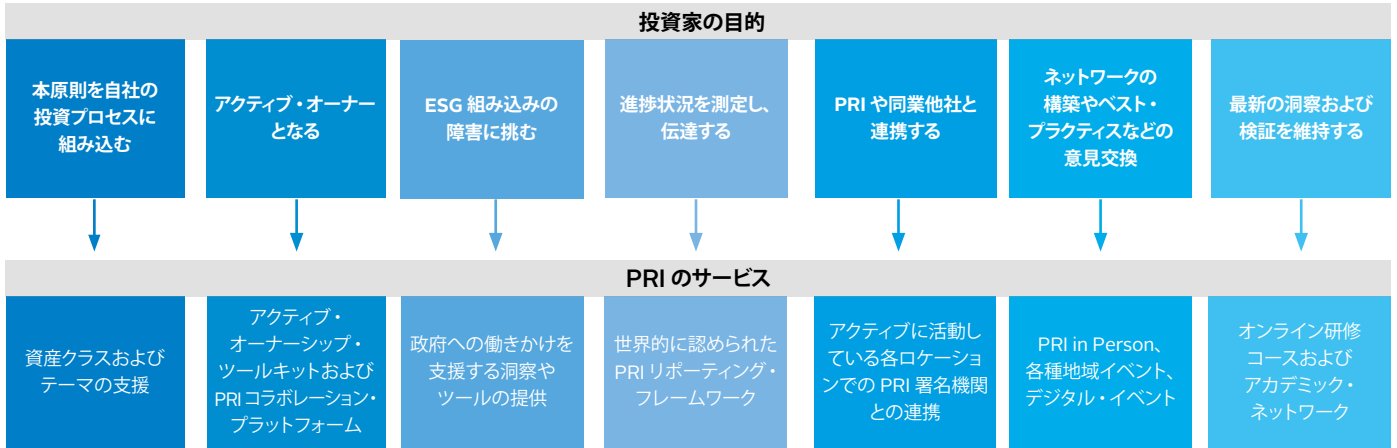
- 投資慣行内で ESG 課題がどのように統合されているかを開示する
- アクティブ・オーナーシップ活動（議決権行使、エンゲージメント、方針対話）を開示する
- 本原則に関し、サービス・プロバイダーが必要としているものを開示する
- ESG 課題および本原則について受益者とコミュニケーションを取る
- コンプライ・オア・エクスプレイン（遵守を求め、不遵守の場合はその理由の説明を求める）アプローチにより、本原則に関する進捗・達成を報告する
- 本原則の影響の見極めに努める
- より広範なステークホルダー集団の中での認識を高めるため、報告を利用する

「これらの原則は、責任投資への取り組みの定型化や集中、社内の意識の向上、投資パートナー、ポートフォリオ企業の経営陣、およびその他のステークホルダーとの共通の言語や期待値を提供するための貴重なプラットフォームとして機能します。このコミットメントを共有する事で、他社との交流や相互で学べる事への価値を認識しています。」

コーンバーグ・クラビス・ロバーツ共同会長、共同創設者  
ジョージ R ロバーツ



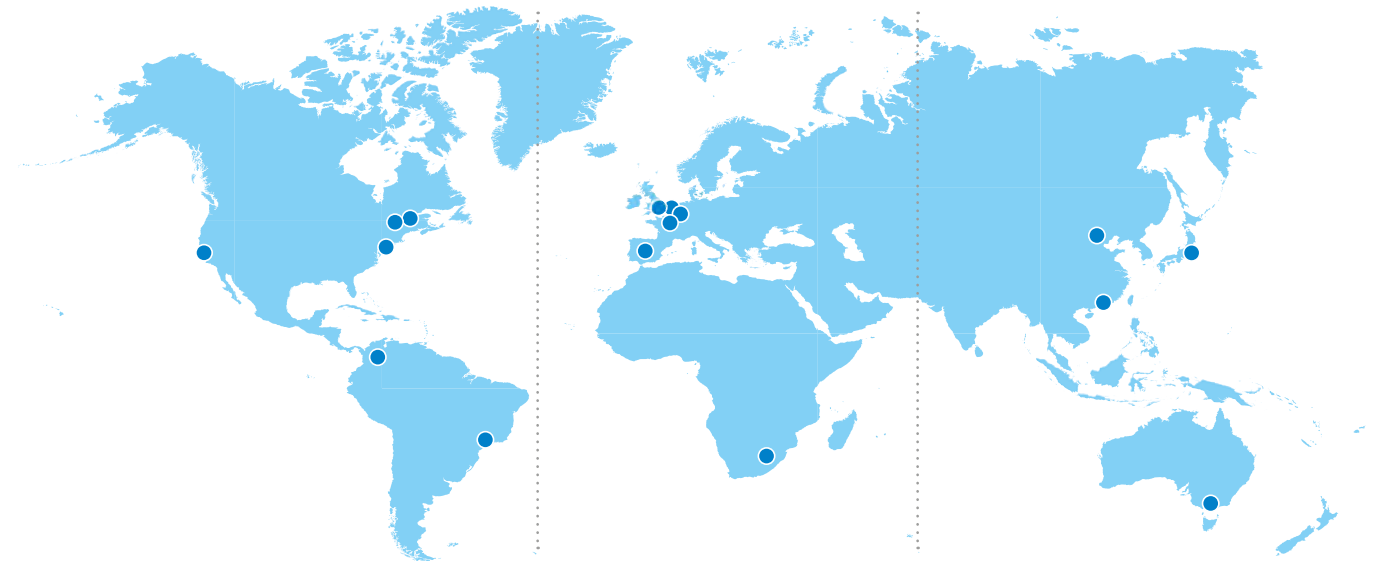
# PRI と投資家の協働状況



\* PRI アカデミーの各種コースへのアクセスは PRI 年会費には含まれていません。

## 国際的なサポート

PRI は60か国以上4,000以上の署名機関と協働しています。PRI のグローバル各地のリレーションシップ・マネージャーは、署名機関が最初に連絡を取る PRI の窓口です。このチームは、地域市場での意識向上を図るとともに、PRI のリソースや専門知識に署名機関をサポートすることに取り組んでいます。



- カナダ
- 米国
- 中南米 (ブラジルを除く)
- ブラジル

- 北欧、中東欧、CIS
- 英国、アイルランド
- ベネルクス
- フランス
- ドイツ、オーストリア、スイス
- 南欧
- アフリカ、中東

- 日本
- 中国
- アジア (日本と中国を除く)
- オーストラリア

「PRI は機関投資家の責任投資をメインストリームに押し上げるにあたって重要な役割を果たしてきており、そうした役割を果たさなければなりません。これは特に年金基金の責任投資に当てはまります。なぜなら、年金基金は高齢化社会に恩恵をもたらす重要な役割を担っているからです」

ABP 理事 ザンダー・デン・アイル



# PRi in Person

新型コロナ・ウイルス危機にあっても、PRIは幅広い  
選りすぐりのオンライン・イベントによる責任ある  
投資家の招集・啓蒙活動を続けます。  
詳細は [www.unpri.org/events](http://www.unpri.org/events) を  
ご覧ください。

初開催以降の  
PRi in Person  
動員状況

500  
以上の  
セッション

1,000名  
以上の  
講演者

8,000名  
以上の  
参加者

PRi in Person は、責任投資業界における、真に唯一のグローバルなカンファレンスです。数日間にわたって学び、人脈作り、協働の機会をPRI 署名機関や投資専門家に提供します。この会合により、参加者は時宜に適ったテーマを話し合い、自身の地域や組織での体験を世界各地の同業者と共有できます。カンファレンスのスポンサーにとっては、この会合は参加者である世界各地の投資家とネットワーキングする幅広い機会となります。

2007年のジュネーブでの PRi in Person 初開催以来、8,000名以上の代表者が参加しました。  
詳細は [www.unpri.org/pri-in-person](http://www.unpri.org/pri-in-person) をご覧ください。

## PRi ACADEMY

世界的に支持される教育

PRi アカデミーは、企業の業績、株主価値、投資決定に対する ESG 課題の影響に関する業界最高の研修を提供するために開発されました。2014年の設立以来、PRi アカデミーは、責任投資研修で世界をリードしており、65か国以上10,000名以上の専門家が受講登録しました。

各コースには、国際的専門家のコンテンツ、実例および仮定のケーススタディ、金融モデリングが用意されています。全コースが完全にオンラインで提供されているので、好きなときに好きなところで開始、終了することができ、移動不要でプレッシャーもかからず、温室効果ガス排出の削減にもなります。

デモを試す



### コース

PRi アカデミーは4種類のコースを提供しています。

- [責任投資入門](#)
- [責任投資基礎](#)
- [責任投資分析上級](#)
- [受託者のための責任投資](#)

次の単位にも利用可能

CFA Institute CE の単位 および CFP Board CE の単位

(米国のみ)

### 受講登録方法

- 受講登録は、以下にアクセスして下さい。  
[www.priacademy.org](http://www.priacademy.org)
- 団体受講登録は、以下にメールして下さい。  
[priacademy@unpri.org](mailto:priacademy@unpri.org)

# PRI 署名機関になるまでの手順

1

以下サイトからダウンロードした宣言書の内容を貴組織のレターヘッドに記載頂き、貴組織の CEO あるいは同等の役職の方にご署名頂いた宣言書を提出して下さい。

宣言書へのアクセス：<https://www.unpri.org/signatories/become-a-signatory>

2

貴組織の連絡先情報、署名する理由などを申請書に記載頂きご提出下さい。

申請書へのアクセス：<https://www.unpri.org/signatories/become-a-signatory>

3

貴組織の組織図をご提出下さい。グループ会社の場合はグループ内の全法人組織（資本関係が分かるもの）が含まれたものをご提出下さい。

上記の情報をオンラインで申請あるいは [info@unpri.org](mailto:info@unpri.org) へ送付して下さい。

4

## 申請の完了

仮承認後、PRI から貴組織に請求書が送付されます。請求書の支払いが確認できた時点で、貴組織の申し込みが完全に承認され<sup>\*</sup>、貴組織は PRI の署名機関となります。

※ PRI は2週間を目途に申請書を発行いたします。この請求書は、次会費年度の開始日（4月1日）までの期間（月割）で請求させていただきます。お支払いが確認でき次第、貴組織を歓迎し、自由に利用できるリソースの紹介も含めて PRI から貴組織にメールで連絡が行きます。

Signatory of:

 Principles for  
Responsible  
Investment

## PRI の国連パートナー

### 国連環境計画・金融イニシアティブ (UNEP FI)

UNEP FI は、国連環境計画 (UNEP) と世界の金融セクターとの間で結ばれたユニークなパートナーシップです。UNEP FI は、サステナビリティと財務パフォーマンスの関係を発展、促進させるため、「UNEP FI 持続可能な開発に関する声明」に署名した200以上の金融機関、幅広いパートナー組織と緊密に連携しています。同業者同士のネットワーク、調査、研修を通して、UNEP FI は金融機関の業務のあらゆるレベルで最善の環境・サステナビリティ慣行の採用を特定、促進、実現するため、自らの使命を遂行します。

詳細情報：[www.unepfi.org](http://www.unepfi.org)



### 国連グローバル・コンパクト

国連グローバル・コンパクトは、世界各地の企業に対し、それぞれの業務や戦略を、人権、労働、環境および腐敗防止の分野で広く受け入れられている10の原則に沿わせ、国連の目標や持続可能な開発目標を支持する行動を取るよう、呼びかけています。国連グローバル・コンパクトは、責任ある企業慣行の策定、実施、開示を主導する基盤です。2000年に始まったこの取り組みは、世界最大規模の企業によるサステナビリティ・イニシアティブであり、160か国以上8,800以上の企業、4,000以上の非営利署名機関、80以上のローカル・ネットワークが参加しています。

詳細情報：[www.unglobalcompact.org](http://www.unglobalcompact.org)



## PRI 問い合わせ先

#### **PRI Association**

5th Floor, 25 Camperdown Street,  
London E1 8DZ, United Kingdom

T: +44 (0)20 3714 3220

#### **PRI Association (Hong Kong) Limited**

Room 3, 11/F, 244 – 248 Des Voeux  
Road Central, Sheung Wan, Hong Kong

T: +852 3897 9699

#### **PRI US, Inc.**

45 Rockefeller Plaza, Suite 2000,  
New York, NY 10111

T: +212 332 3437

#### **PRI Association France SARL**

44-46 Rue de la Bienfaisance,  
75008 Paris, France

T: +33 (0)1 87 16 40 34

#### **PRI Association (Hong Kong) Limited,**

#### **Beijing representative office**

Office No. 2622, Beijing Vantone Centre D-26F,  
No. 6 Chaowai Road, Chaoyang District, Beijing, China

## お問い合わせ

[www.unpri.org](http://www.unpri.org) | [info@unpri.org](mailto:info@unpri.org)